

様式第 1 0
 循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
北信地域	中野市、山ノ内町、長野市豊野地区(～平成 30 年度)、 小布施町、飯綱町、北信保健衛生施設組合	平成 27 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	平成 27 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

1 目標の達成状況
 (ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 25 年度)	目 標 (令和 2 年度) A	実 績 (令和 2 年度) B	実績 /目標	
排出量	生活系総排出量 1 人当たりの排出量	176kg/人	169kg/人(△4.0%)	171kg/人(△2.8%)	70.0%
再生利用量	直接資源化量 総資源化量	4,119.93t (14.7%) 6,084.91t (20.9%)	4,731t (18.1%) 6,523t (24.1%)	3,233.55t (13.5%) 4,688.95t (19.5%)	△35.3% △43.8%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

- 1人当たりの排出量について
廃棄物の量も減少しているが、人口の減少割合が比較的大きかったので影響したと思われる。
- 直接資源化量について
ペットボトル、白色トレイ、紙パック、段ボール、布類などは民間のスーパーなどによる収集が進んでいるが、数量の把握が困難であり資源化量に含まれていないため資源化率に影響したと考えられる。
- 総資源化量について
直接資源化量の減少と集団回収量の減少により総資源化量率の低下につながったと考えられる。

3 目標達成に向けた方策

- 1人当たりの排出量について
関係市町を通じて、ごみの分別や減量を広報などにより啓発活動を継続していく。
- 直接資源化量について
関係市町を通じて、民間回収量の把握に努めていく。
- 総資源化量について
数値の変動と民間回収量の把握が影響するが、数値が把握できるように努めていく。

(都道府県知事の所見)

1人当たりの排出量については、引き続き広報活動等による発生抑制への注力が必要と考える。

再生利用量の減少については、民間事業者による資源回収量の増加等が影響していると考えられ、県内他地域においても同様の状況が確認されている。

これらの本計画における目標未達成の指標の改善のため、本改善計画書の「3 目標達成に向けた方策」の実施により、地域の4Rの推進が望まれる。

県としては、地域の4Rを推進するため、必要に応じて技術的援助を行うなど、今後とも市町村等と連携を図りながら県内廃棄物の発生抑制や適正処理に努めてまいりたい。